



OPROARTS Connector v2 セットアップガイド

Ver.1.3

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2021/02/22	新規作成
1.1	2021/03/23	OPROARTS Connector v2 の URL 変更
1.2	2023/03/14	「Appexchange からのインストール画面」を変更
1.3	2025/02/03	「OPROARTS Connector v2 のインストール」を変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、下記サービスをご利用するにあたり必要な、OPROARTS Connector v2 のインストールから認証情報の設定方法までを記載しています。

OPROARTS Live

OPROARTS Connector for Salesforce

ViewFramer

AppsME カスタムレイアウト

各サービスの具体的な操作手順書及び、テンプレートの作成方法は別資料がございますので、そちらをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. OPROARTS Connector v2 のインストール	5
2. Salesforce の設定	7
2.1 ユーザ権限の設定	7
2.2 ログインセッションの設定.....	8
3. ライセンスの登録	9
3.1 「デザイン(LAD)」ライセンスの登録	11
3.2 「出力(LA)」ライセンスの登録.....	13
4. 全ユーザーに帳票出力権限を与える場合	15
4.1 「全ユーザ出力(ALA)」の登録.....	15
5. OPROARTS Connector v2 のアンインストール	17

1. OPROARTS Connector v2 のインストール

ここでは OPROARTS Connector v2 のインストール方法について説明します。

注意 OPROARTS Connector v2 は、VisualforcePDF に対応していません。旧 OPROARTS Connector で作成した VisualforcePDF 帳票の出力は可能ですが、新規作成や既存帳票の修正が行えなくなりますのでご注意ください。

1. オプロから受け取った OPROARTS Connector v2 のインストール URL でインストールしてください。
2. ライセンスの割り当て先を選択し、[インストール]ボタンをクリックします。
例では、「すべてのユーザのインストール」にチェックを入れています。

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
OPROARTS Connector	株式会社オプロ	ver 2.3	2.3

その他の詳細 [コンポーネントを表示](#)

※「バージョン名」と「バージョン番号」は、2021年2月22日時点のものです。

3. [完了]ボタンをクリックすると、インストール先組織の「インストール済みパッケージ」画面に遷移します。

インストール OPROARTS Connector

コメント作成者 株式会社オプロ

i **インストール完了!**

完了

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
OPROARTS Connector	株式会社オプロ	ver 2.3	2.3

ホーム
インストール済みパッケージ
このページを印刷

インストール済みパッケージ

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコンポーネントを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたりすることができます。パッケージのインストールの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

アプリケーションやコンポーネントは、パッケージでインストールされます。インストール後は、すべてのカスタムアプリケーション、タブ、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付いており、組織内のユーザーは利用できません。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズして取り戻すことができます。コンポーネントは、[リリース]をクリックして、他の設定機能を使用して簡単にリリースしたり、グループ単位でリリースしたりできます。

インストール済みパッケージの機能もリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、【アンインストール】をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、【ライセンスの管理】をクリックします。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間/プレフィクス	状況	許可されているライセンス数	実行ライセンス	有効期限	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了
アンインストール ライセンスの管理	SOWISE	株式会社オプロ	3.1	sowise	有効	5	1	有効期限はありません	2021/01/06 10:26	<input type="checkbox"/>	6	64	135	合格
アンインストール	OPROARTS Connector	株式会社オプロ	2.3	oproartsl	トライアル	Unlimited	0	2021/04/29	2021/01/29 11:52	<input type="checkbox"/>	2	2	4	合格

以上で、OPROARTS Connector v2 のインストールは完了です。

2. Salesforce の設定

ここでは OPROARTS を利用するために設定が必要な Salesforce の項目について説明します。

2.1 ユーザ権限の設定

使用するユーザのプロファイルが「システム管理者」以外の場合、プロファイルを編集して以下の権限を与えてください。編集できない標準のプロファイルの場合は、そのプロファイルをコピーして新規のプロファイルを作成し、それを編集して各ユーザに割り当ててください。

デザイン時・文書出力時共通

- カスタムオブジェクト OPROARTS、OPROARTS ユーザに対する [参照] 権限
- それらのオブジェクトのすべての項目に対する [参照可能] 項目レベルセキュリティ (特に、OPROARTS ユーザの「ユーザ」項目に注意)
- [システム管理者権限] の [API の有効化] 権限

デザイン時

- [システム管理者権限] の [設定・定義を参照する] 権限

ライセンス管理時

- カスタムオブジェクト OPROARTS、OPROARTS ユーザに対する [作成] ・ [すべて変更] 権限
- それらのオブジェクトのすべての項目に対する [編集可] 項目アクセス許可

2.2 ログインセッションの設定

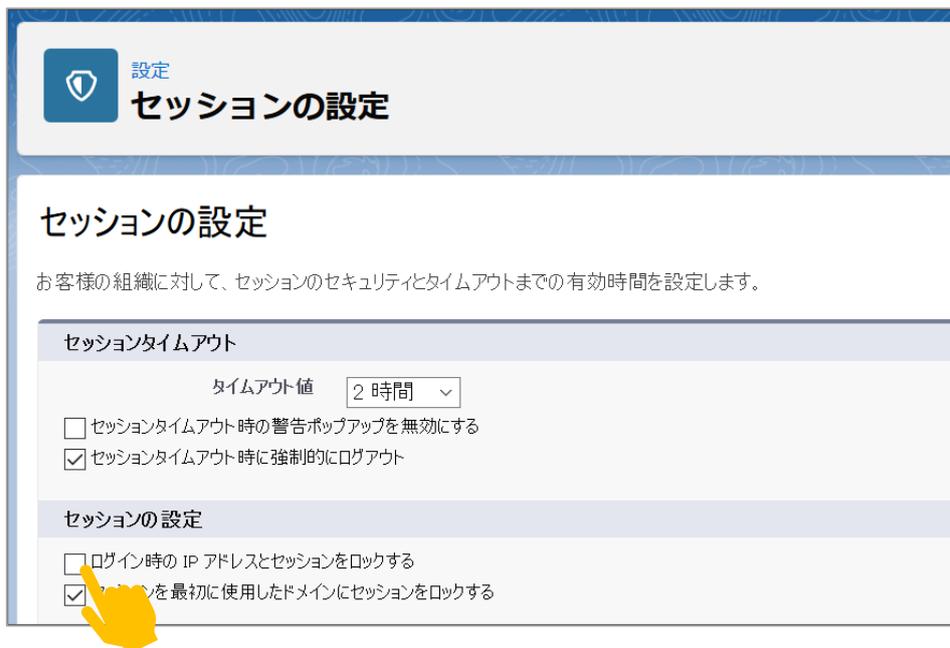
デザイン機能と文書作成処理は OPROARTS のクラウド環境にて実行されます。その際、Salesforce へのログインセッションを使用して、必要に応じて Salesforce から情報を取得します。

そのため、以下のようにして、ログインセッションを使用した外部アクセスを許可してください。

1. [設定]画面のクイック検索ボックスに「セッション」と入力して、[セッションの設定]をクリックします。



2. [ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]チェックボックスをオフにします。
(元々オフになっている場合、本設定は不要なので、そのまま設定画面を閉じて問題ありません)



3. 画面最下部の[保存]ボタンをクリックします。
4. 設定を変更した場合は、一旦 Salesforce からログアウトして、ログインしなおします。

3. ライセンスの登録

OPROARTS ライセンスの登録方法を説明します。

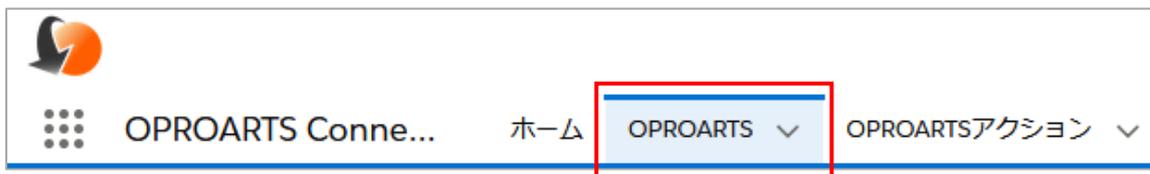
ライセンスの登録は、前章でインストールした「OPROARTS Connector v2」を使用します。

1. アプリケーションランチャーから「OPROARTS Connector v2」をクリックします。

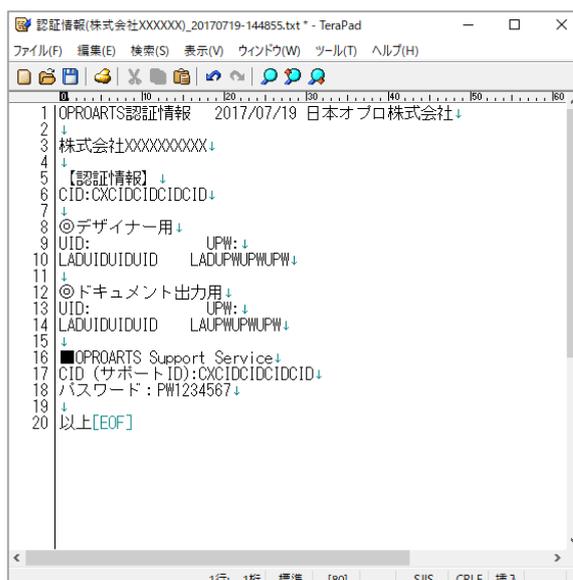


2. ご契約時またはトライアルライセンスの取得時に当社から送付している認証情報テキストをご用意ください。

[OPROARTS]タブを開きます。



認証情報を用意します。



```
1 OPROARTS認証情報 2017/07/19 日本オプロ株式会社↓
2 ↓
3 株式会社XXXXXXXXXX↓
4 ↓
5 【認証情報】 ↓
6 CID:CXCIDC1DC1DC1D↓
7 ↓
8 ◎デザイナー用 ↓
9 UID: UPW: ↓
10 LADUIDUIDUID LADUPWUPWUP↓
11 ↓
12 ◎ドキュメント出力用 ↓
13 UID: UPW: ↓
14 LADUIDUIDUID LAUPWUPWUP↓
15 ↓
16 ■ OPROARTS Support Service ↓
17 CID (サポートID):CXCIDC1DC1DC1D↓
18 /パスワード: PW1234567↓
19 ↓
20 以上[EOF]
```

3.1 「デザイン(LAD)」ライセンスの登録

「デザイン(LAD)」に登録したユーザは、帳票デザインの設計を行うことができます。

1. プルダウンから「デザイン(LAD)」を選択し、当社から送付した認証情報の「CID」を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

アクション	OPROARTS キー	CID
<input type="button" value="追加"/>	デザイン (LAD)	<input type="text"/>
アクション		OPROARTS キー

2. 下に「デザイン(LAD)」レコードが表示されるので、デザイン(LAD)リンクをクリックします。

アクション	OPROARTS キー	CID
<input type="button" value="追加"/>	出力 (LA)	<input type="text"/>
編集 削除	デザイン (LAD)	<input type="text"/>

3. ユーザには、帳票設計を行うユーザを選択します。UID/UPW には、当社から送付した「デザイナー用」の UID と UPW を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

OPROARTS
LAD (CID:)

« 一覧に戻る: OPROARTS

アクション	ユーザー	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
アクション			ユーザー

「デザイン(LAD)」に登録したユーザは、帳票テンプレートを作成できます。

4. 下部に、ライセンスを適用したユーザのレコードが登録されます。

 OPROARTS
LAD (CID:)

[« 一覧に戻る: OPROARTS](#)

OPROARTSユーザ

アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

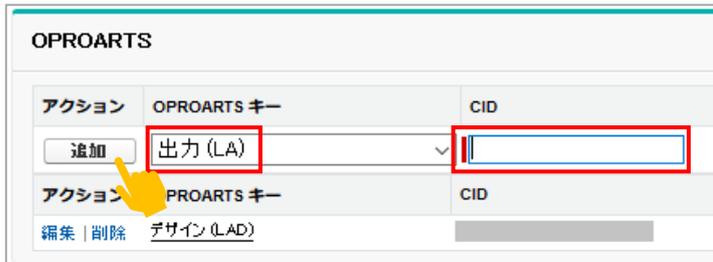
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
編集 削除	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

以上で、ライセンス「デザイン(LAD)」の登録は完了です。

3.2 「出力(LA)」ライセンスの登録

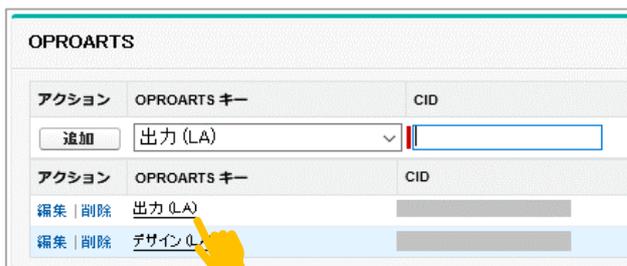
「出力(LA)」に登録したユーザは、帳票出力を行うことができます。
帳票出力を行う必要があるユーザを必ず登録してください。

1. プルダウンから「出力(LA)」を選択し、当社から送付した認証情報の「CID」を入力し、[追加]ボタンをクリックします。



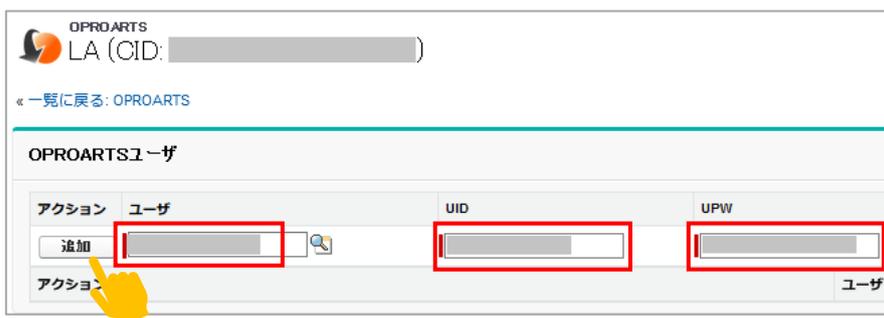
アクション	OPROARTS キー	CID
追加	出力(LA)	
編集 削除	デザイン(LAD)	

2. 下に「出力(LA)」レコードが表示されるので、出力(LA)リンクをクリックします。



アクション	OPROARTS キー	CID
編集 削除	出力(LA)	
編集 削除	デザイン(LAD)	

3. ユーザには、帳票出力を行うユーザを選択します。UID/UPW には、当社から送付した「ドキュメント出力用」のUIDとUPWを入力し、[追加]ボタンをクリックします。



アクション	ユーザ	UID	UPW
追加			

「出力(LA)」に登録したユーザは、帳票出力が可能になります。

4. 下部に、ライセンスを適用したユーザのレコードが登録されます。これを必要なユーザ分繰り返してください。

OPROARTS
LA (CID: [redacted])

« 一覧に戻る: OPROARTS

OPROARTSユーザ

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
編集 削除	[redacted]	[redacted]	[redacted]

以上で、ライセンス「出力(LA)」の登録は完了です。

4. 全ユーザーに帳票出力権限を与える場合

全ユーザーに帳票出力権限を与える場合の手順について説明します。

注意

Salesforce 組織内の全ユーザーに帳票出力権限を与える設定を使用できる機能([全ユーザ出力(ALA)])は、帳票テンプレートの連携方法「Connector for Salesforce」または「ViewFramer/D3Worker」で帳票作成を行っている場合に使用可能です。

帳票作成サービス（Prime）を利用して帳票作成を行っている場合や「OPROARTS アクション」を使用している場合は対応しておりませんので、ご注意ください。

また、「Connector for Salesforce」や「ViewFramer」を含めた複数のサービスをお使いの場合もご利用の状況によっては使用できない場合がございます。

全ユーザ出力(ALA)が使用できるかどうか分からない場合は、検証環境でお試しいただくか、サポートまでお問い合わせください。

(2021/02 時点)

4.1 「全ユーザ出力(ALA)」の登録

1. 「出力(LA)」では登録しているユーザのみ帳票出力を行うことができますが、「全ユーザ出力(ALA)」ではSalesforce に登録されているユーザ全員に出力権限を与えることができます。プルダウンから「全ユーザ出力(ALA)」を選択し、当社から送付した認証情報の「CID」を入力して「追加」ボタンをクリックします。

アクション	OPROARTS キー	CID
<input type="button" value="追加"/>	全ユーザ出力 (ALA)	<input type="text"/>

2. 下に「全ユーザ出力(ALA)」レコードが表示されるので、全ユーザ出力(ALA)リンクをクリックします。

アクション	OPROARTS キー	CID
<input type="button" value="追加"/>	出力 (LA)	<input type="text"/>
編集 削除	全ユーザ出力 (ALA)	<input type="text"/>

3. 「ALA」を開き、ユーザと「ドキュメント出力用」の UID と UPW を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

OPROARTS ALA (CID: [redacted])

« 一覧に戻る: OPROARTS

OPROARTSユーザ

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	[input field]	[input field]	[input field]
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
編集 削除	[redacted]	[redacted]	[redacted]

4. 下部に、ユーザのレコードが登録されます。
 一名の登録で全ユーザへの出力権限が付与されますので、他のユーザを登録する必要はありません。
 ※全ユーザのプロファイルに帳票に使用する項目への参照権限を与える必要があります。

OPROARTS ALA (CID: [redacted])

« 一覧に戻る: OPROARTS

OPROARTSユーザ

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	[input field]	[input field]	[input field]
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
編集 削除	[redacted]	[redacted]	[redacted]

※出力(LA)レコードの登録がある場合は、削除してください。

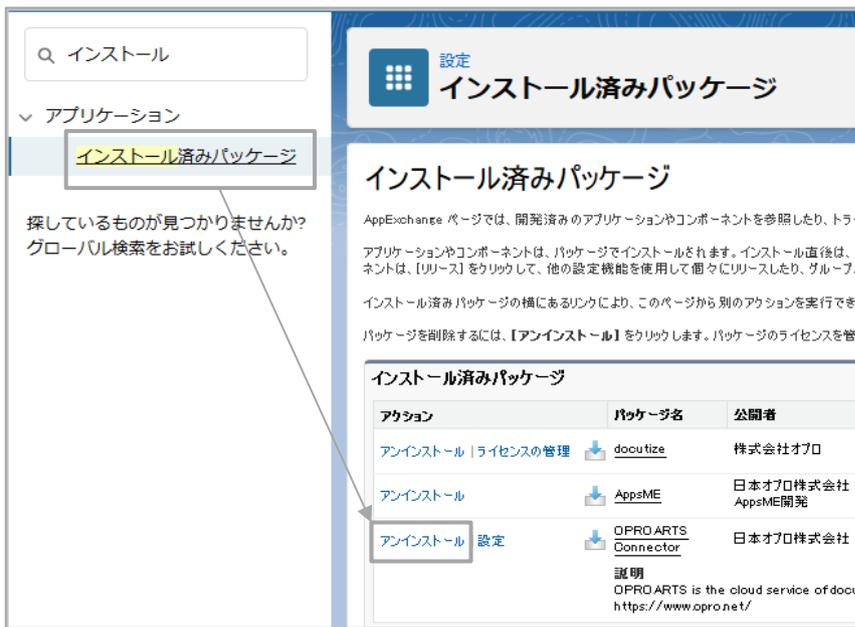
OPROARTS

アクション	OPROARTS キー	CID	
追加	出力(LA) [dropdown]	[input field]	
アクション	OPROARTS キー	CID	最終更新日
編集 削除	全ユーザ出力(ALA)	[redacted]	[redacted]
編集 削除	出力(LA)	[redacted]	[redacted]
編集 削除	デザイン(LAD)	[redacted]	[redacted]

5. OPROARTS Connector v2 のアンインストール

OPROARTS Connector v2 のアンインストール方法を説明します。

1. 設定> [インストール済みパッケージ]をクリックし、OPROARTS Connector パッケージの[アンインストール]リンクをクリックします。



パッケージのアンインストール画面で[はい。このパッケージをアンインストールして、すべての関連コンポーネントを永久に削除します]にチェックを入れて、[アンインストール]ボタンをクリックします。削除完了後にメールが届きます。

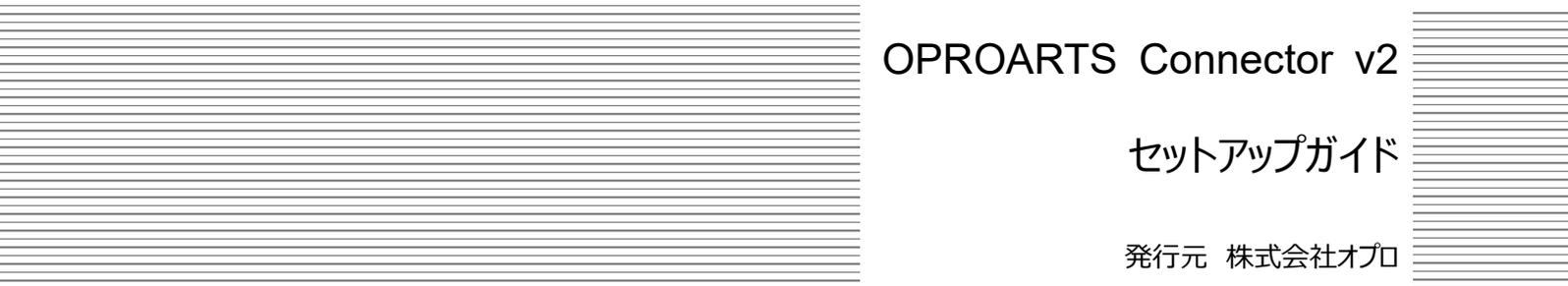


注意

旧 OPROARTS Connector で作成した VisualforcePDF を使用されている場合は、以下の手順を行ってからアンインストールの操作を行ってください。

1. ページレイアウトからボタンを削除する
2. ボタン、リンクおよびアクションから作成したボタンを削除する
3. 作成した Visualforce ページを削除する

VisualforcePDF 以外の帳票はそのままでもアンインストールすることができますが、OPROARTS Connector パッケージのアンインストール後に出力ボタンをクリックするとエラーとなりますので、出力ボタンはレイアウトから外してください。（出力ボタンの削除は任意となります）



OPROARTS Connector v2

セットアップガイド

発行元 株式会社オプロ